

No.		土質柱状図				調査期間 昭和58年10月13日~昭和58年10月14日														
調査名 (仮称) 千葉市消防防災総合センター					調査地点					地盤高 67.00 m					調査目					
調査地区 基本設計					ボーリング番号 B-2					地下水位 9.4-6.50 m										
標尺 (m)	標地下水高位 (m)	深 度 (m)	層 厚 (m)	柱 状 図	土 質 分 類	色 調	観 察 事 項	標 準 貫 入 試 験					相 対 密 度 及 び コ ン シ ム テ ン シ ー	試 料 採 取		標 尺 (m)				
								深 度 (m)	打 撃 回 数 (回/cm)			N 値					深 度 (m)	番 号		
									(回/cm)	10	20	30		40	50					
68.70	0.30	0.30			表土		三次ローム層多													
					ローム	褐色	上部草木根多 0.3~0.7m間ヤカリ 0.7m以深多孔質 ローム 炭化物少量混入	1.15												
					ローム	褐色		1.45	1	15										
					ローム	褐色		2.15	1	15	2									
					ローム	褐色		2.47	1	12	2									
					ローム	褐色		3.15	1	1	3									
					ローム	褐色		3.47	1	1	3									
					ローム	褐色		4.15	1	1	3									
62.20	4.80	4.50			粘土質細砂	黄灰	汚石混入	4.45	1	1	3									
61.60	5.40	0.60			黄灰	黄灰		5.15			12									
					黄灰	黄灰		5.45	3	4	5									
					黄灰	黄灰	粒子均一	6.15			13									
					黄灰	黄灰		6.45	4	5	4									
					暗黄灰	暗黄灰	雲母・汚石混り	7.15			15									
					暗黄灰	暗黄灰		7.45	5	6	4									
					暗黄灰	暗黄灰	10.7m以深以下の薄層所々に挟在	8.15			10									
					暗黄灰	暗黄灰		8.45	2	3	5									
					暗黄灰	暗黄灰		9.15			12									
					暗黄灰	暗黄灰		9.45	3	4	5									
					暗黄灰	暗黄灰		10.15			11									
					暗黄灰	暗黄灰		10.45	3	4	4									
					暗黄灰	暗黄灰		11.15			10									
					暗黄灰	暗黄灰		11.45	3	3	4									
					暗黄灰	暗黄灰		12.15			11									
					暗黄灰	暗黄灰		12.45	3	4	4									
					暗黄灰	暗黄灰		13.15			8									
					暗黄灰	暗黄灰		13.45	2	3	3									
					暗黄灰	暗黄灰		14.15			10									
					暗黄灰	暗黄灰		14.45	2	3	5									
					暗黄灰	暗黄灰		15.15			10									
					暗黄灰	暗黄灰		15.45	2	3	5									
50.60	16.40	11.00			砂質シルト	淡黄灰	砂の薄層挟在	16.15			14									
50.35	16.65	0.25			砂質シルト	淡黄灰		16.45	4	5	5									
					砂質シルト	暗黄灰	雲母・汚石混入	17.15			28									
					砂質シルト	暗黄灰		17.45	6	10	12									
					砂質シルト	暗黄灰		18.15			29									
					砂質シルト	黄褐灰	粒子均一	18.45	6	10	13									
					砂質シルト	暗黄灰		19.15			38									
					砂質シルト	暗黄灰		19.45	10	13	15									
					砂質シルト	暗黄灰		20.15			27									
					砂質シルト	暗黄灰		20.45	7	10	10									
					砂質シルト	暗黄灰		21.15			30									
					砂質シルト	暗黄灰		21.43	13	20	17									
					砂質シルト	黄褐灰	22m以深以下の薄層所々に挟在	22.15			28									
					砂質シルト	暗黄灰		22.45	7	9	12									
					砂質シルト	暗黄灰		23.15			43									
					砂質シルト	暗黄灰		23.45	10	15	15									
					砂質シルト	暗黄灰		24.15			34									
					砂質シルト	暗黄灰		24.45	9	11	14									
					砂質シルト	暗黄灰		25.15			42									
					砂質シルト	暗黄灰		25.45	11	15	16									
					砂質シルト	暗黄灰		26.15			50									
					砂質シルト	暗黄灰		26.35	18	32	20									
					砂質シルト	暗黄灰		27.15			50									
					砂質シルト	暗黄灰		27.45	12	18	20									
28.65	28.35	11.70			砂質シルト	暗黄灰		28.15			50									
					砂質シルト	暗黄灰		28.35	20	30	20									

No. _____		土質柱状図			調査期間 昭和58年10月13日~昭和58年10月14日												
調査名 (仮称) 千葉市消防防災総合センター				調査地点 _____			地盤高 63.50m		調査員 _____								
調査地区 基本設計				ボーリング番号 B-1			地下水位 62.70m										
標尺 (m)	標地下水高位 (m)	深度 (m)	層厚 (m)	柱状図	土質分類	色調	観察事項	標準貫入試験					相対密度及びコンシステンシー	試料採取		標尺 (m)	
								深度 (m)	打撃回数 (回/cm)	N 値					深度 (m)		番号
								(回/cm)	10	20	30	40	50				
1	63.10	0.40	0.40	表土	腐植土	褐色	二次ローム草根混り	1.00								1.00	1
2	61.80	1.70	1.30	ローム	粘土質	褐色	草根若干混り 1.50m以深ヤコ柔さ 加り、ローム質粘土	1.48	1/20	1/13	2/33					1.50	1
3				粘土質	細砂	黄灰	浮石混入	2.15								2.00	2
4				粘土質	細砂	黄灰	粘土分全体に混り	2.45	1	1	2	4/30				2.50	2
5	60.10	3.40	1.70	細砂	黄灰	黄褐色	浮石混り	3.15	1/18	3/12	4/30					3.00	3
6	59.40	4.10	0.70	粘土質	細砂	黄灰	70~4.1m間中砂	3.45								3.50	3
7	58.70	4.80	0.70	粘土質	細砂	黄灰	浮石混り	4.15	1	1	2/12	4/32				4.00	4
8				黄褐色				4.47	1	1	2/12	4/32				4.50	4
9				黄褐色				5.15								5.00	5
10				黄褐色				5.45	2	3	3	8/30				5.50	5
11				黄褐色				6.15								6.00	6
12				黄褐色				6.45	3	3	3	9/30				6.50	6
13				暗黄灰				7.15								7.00	7
14				暗黄灰				7.45	2	3	2	7/30				7.50	7
15				暗黄灰				8.15								8.00	8
16				暗黄灰				8.45	1	2	2	5/30				8.50	8
17				暗黄灰				9.15								9.00	9
18				暗黄灰				9.45	4	4	5	13/30				9.50	9
19				暗黄灰				10.15								10.00	10
20				暗黄灰				10.45	4	6	6	16/30				10.50	10
21				暗黄灰				11.15								11.00	11
22				暗黄灰				11.45	3	4	4	11/30				11.50	11
23				暗黄灰				12.15								12.00	12
24				暗黄灰				12.45	3	3	4	10/30				12.50	12
25				暗黄灰				13.15								13.00	13
26				暗黄灰				13.45	4	6	7	17/30				13.50	13
27				暗黄灰				14.15								14.00	14
28				暗黄灰				14.45	4	4	5	12/30				14.50	14
29				暗黄灰				15.15								15.00	15
30				暗黄灰				15.45	4	5	7	16/30				15.50	15
31				暗黄灰				16.15								16.00	16
32				暗黄灰				16.45	3	3	4	10/30				16.50	16
33				暗黄灰				17.15								17.00	17
34				暗黄灰				17.45	4	5	8	17/30				17.50	17
35				暗黄灰				18.15								18.00	18
36				暗黄灰				18.45	6	8	10	24/30				18.50	18
37				暗黄灰				19.15								19.00	19
38				暗黄灰				19.45	5	7	10	22/30				19.50	19
39				暗黄灰				20.15								20.00	20
40				暗黄灰				20.45	5	10	13	28/30				20.50	20
41				暗黄灰				21.15								21.00	21
42				暗黄灰				21.45	7	9	11	27/30				21.50	21
43				暗黄灰				22.15								22.00	22
44				暗黄灰				22.45	5	6	10	21/30				22.50	22
45				暗黄灰				23.15								23.00	23
46				暗黄灰				23.45	7	11	14	32/30				23.50	23
47				暗黄灰				24.15								24.00	24
48				暗黄灰				24.45	6	8	9	23/30				24.50	24
49				暗黄灰				25.15								25.00	25
50				暗黄灰				25.45	9	12	15	36/30				25.50	25
51				暗黄灰				26.15								26.00	26
52				暗黄灰				26.45	19	31	6	70/16				26.31	26
53				暗黄灰				27.15								27.00	27
54				暗黄灰				27.45	20	30		50/20				27.35	27
55				暗黄灰				28.15								28.00	28
56				暗黄灰				28.45	18	32		50/20				28.35	28
57				暗黄灰													29
58				暗黄灰													30
59				暗黄灰													31

No. _____		土質柱状図			調査期間 昭和58年10月15日~昭和58年10月17日															
調査名 (仮称)千葉市消防防災総合センター				調査地点 _____			地盤高 65.90 m		調査目 _____											
調査地区 基本設計				ボーリング番号 B-3			地下水位 6.4-6.40 m													
標尺 (m)	標地下水高位 (m)	深 度 (m)	層 厚 (m)	柱 状 図	土 質 分 類	色 調	観 察 事 項	標 準 貫 入 試 験					相 対 密 度 及 び コンシステンシー	試 料 採 取		標 尺 (m)				
								深 度 (m)	打 撃 回 数 (回/cm)		N 値						深 度 (m)	番 号		
				(回/cm)	10	20	30		40	50										
1	65.60	0.30	0.30	~	表土	茶褐色	三次ローム	上部腐根等												
2				~	ローム	褐色	多孔質	3.4m以深砂分若干多	1	1	1	3								
3				~					1	1	2	2								
4	62.20	3.70	3.40	~	粘土質細砂	黄褐色	粘土分全体に含在		1	1	2	2								
5	61.80	4.10	0.40	~	黄褐色				2	2	3	7								
6				~	黄灰		粒度均一	6m付近に黄褐色	4	4	5	13								
7				~	暗黄灰		含む	7.0m付近にシルト	3	3	3	9								
8				~	黄褐色			7.60~7.85m間	1	3	4	8								
9				~	黄灰			シルトと砂の互層	2	3	4	9								
10				~	暗黄灰			8m付近よりシルト	2	3	4	9								
11				~	黄褐色			9m付近より黄灰	2	3	3	8								
12				~	暗黄灰			色を呈するシルトの	2	3	3	8								
13				~	黄褐色			薄片を投在	2	3	3	8								
14				~	黄褐色			12.1~12.3m間シルト	2	1	2	5								
15				~	黄褐色			12.7~12.9m間シルト	2	1	2	5								
16				~	黄褐色			浮石混る	2	2	3	7								
17				~	暗黄灰			15.00~15.05m間	1	2	3	6								
18				~	暗黄灰			シルト層	2	2	3	7								
19				~	暗黄灰				2	1	2	5								
20				~	暗黄灰			17.0m以深は	3	5	5	13								
21				~	暗黄灰			均一な砂	6	6	3	20								
22				~	暗黄灰				5	6	7	18								
23				~	暗黄灰				7	8	9	24								
24				~	暗黄灰				5	6	6	17								
25				~	暗黄灰				6	6	7	19								
26				~	暗黄灰				6	7	11	24								
27				~	暗黄灰				9	10	12	31								
28				~	暗黄灰				9	12	19	40								
29				~	暗黄灰				10	13	22	50								
30				~	暗黄灰			26.0~26.4m間	14	16	20	50								
31	38.45	27.45	23.35	~	黄褐色			黄褐色砂	14	16	20	50								

仮称千葉市消防防災総合センター  
調査件名 造成実施設計委託

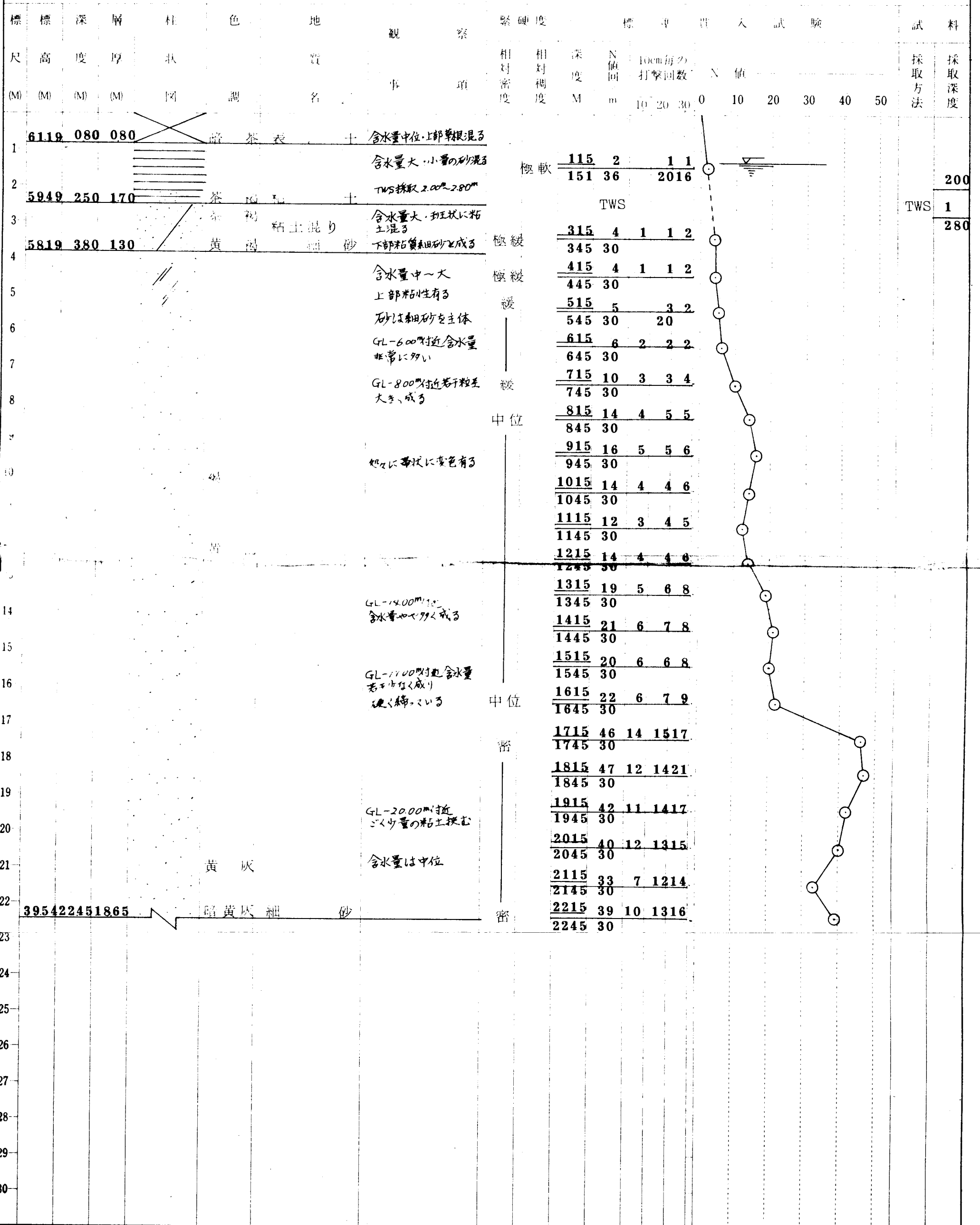
地質柱状図 NO. 1

調査地点 千葉市平川町地先

標高 TP+ 61.990 m

調査年月日 昭和59年7月22日~昭和59年7月23日

孔内水位 GL - 1.350 m



仮称千葉市消防防災総合センター  
調査件名 造成実施設計委託

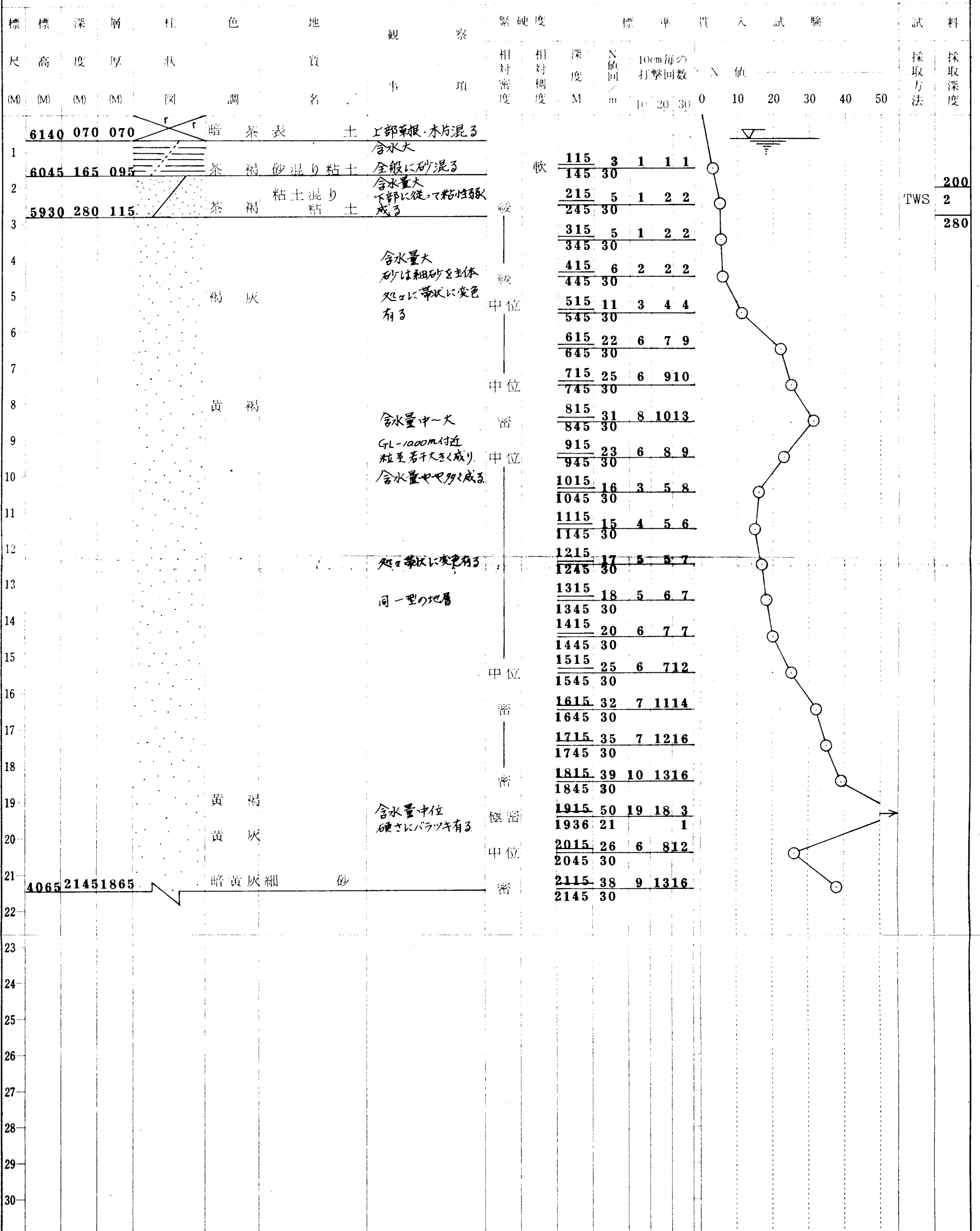
地質柱状図 NO. 2

調査地点 千葉市平川町地先

標高 TP+ 62.100 m

調査年月日 昭和59年7月20日~昭和59年7月21日

孔内水位 GL - 0.650 m

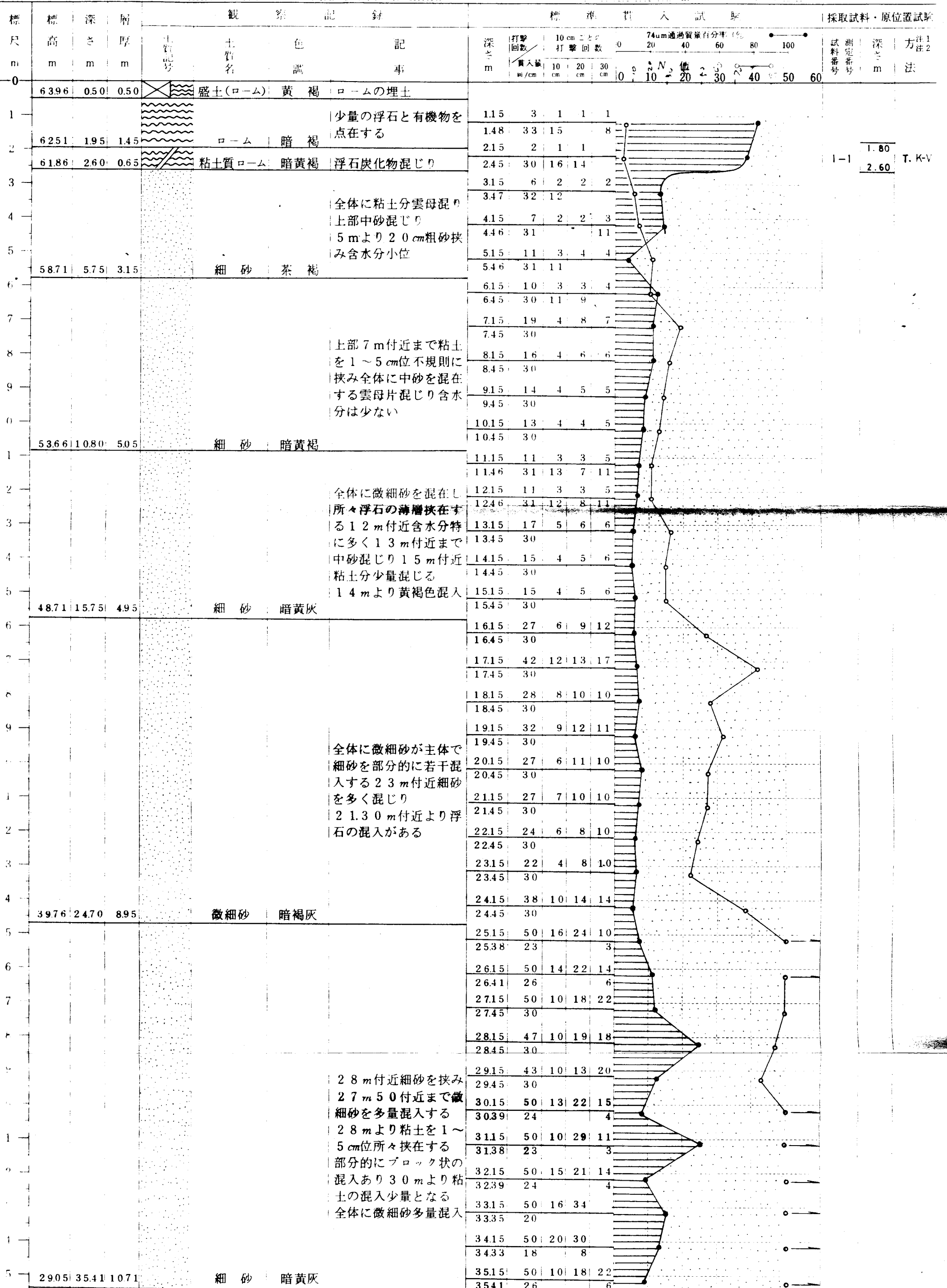


ボーリング孔: No. No. 1

機種

孔内水位(自然、泥) GL-10.70 m

調査責任者



1-1 1.80 2.60 T. K-V











# ボーリング柱状図

調査名

仮称千葉市消防防災総合センター訓練棟新築地質調査

ボーリングNo.:

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	NO. 1	調査位置	千葉市平川町1513番地の1他	北緯
発注機関	調査期間			平成 1年 2月10日 ~ 1年 2月15日 東経
調査業者名	主任技師	現場代理人	コア鑑定者	ボーリング責任者
孔口標高	+64.52m	角度	90°	方
総掘進長	31.45m	度	0°	向
試錐機	YBM-05		ハンマー	落下器具
エンジン			ポンプ	

標高	層厚	深	柱状	土質	色	相対	相対	記	標準貫入試験		原位置試験	試験採取	室内試験	掘進	
									深	N値					
62.52	2.00	2.00	○	暗褐	黄褐	粘	密	上部0.10mは盛土全体に浮石混入し多孔隙である	1.5	1	1	3	30	3	1.00
61.72	0.80	2.80	△	粘土混り細砂	黄褐	粘	稠	粘土を薄層で不規則に混入し、黒色有機物を混じる	2.5	2	1	2	5	4.7	1.85
59.42	2.30	5.10	□	細砂	黄褐	粘	稠	黒色の砂を斑点状に混じり含水分は少ない。2mより褐色が強く5.0mまで粗砂を挟在	3.5	3	2	3	8	7.7	3.00
57.52	1.90	6.90	□	細砂	暗黄褐	粘	稠	粘土を少量混じり、雲母片混在含水分少量	4.5	6	7	8	21	21	4.00
53.72	3.90	10.80	□	細砂	暗黄褐	粘	稠	上部7m付近中砂を混じり、細礫点左し薄層で粘土を挟在する含水分中位全体	5.5	3	3	3	9	9	8.40
50.77	2.95	13.75	□	細砂	暗黄褐	粘	稠	に雲母片混じり、9m以深浮石を混在する。10.40mより含水分多い	6.5	2	4	5	11	31	3.00
48.77	2.00	15.75	□	細砂	暗黄褐	粘	稠	含水分多く全体に浮石を薄層で挟在	7.5	4	5	5	14	14	
43.72	5.05	20.80	□	細砂	暗黄褐	粘	稠	1.4. 3.5m以深黒色の細砂を薄層で挟み微細砂分多く混入する	8.5	4	5	5	14	14	
40.72	1.10	23.80	□	細砂	暗黄褐	粘	稠	微細砂及び雲母片を全体に混じり、9m付近は含水分多く、粘土をレンズ状に混入している	9.5	3	4	3	10	31	
			□	細砂	暗黄褐	粘	稠	微細砂分多く雲母混じり、含水分中位で2.2m付近雲母片多い。	10.5	2	3	4	9	9	
			□	細砂	暗黄褐	粘	稠	中砂を少量混じり、雲母片混じり	11.5	3	3	3	9	9	
			□	細砂	暗黄褐	粘	稠		12.5	3	3	4	10	10	
			□	細砂	暗黄褐	粘	稠		13.5	4	4	4	12	12	
			□	細砂	暗黄褐	粘	稠		14.5	5	10	12	28	28	
			□	細砂	暗黄褐	粘	稠		15.5	8	9	11	28	28	
			□	細砂	暗黄褐	粘	稠		16.5	9	13	13	34	34	
			□	細砂	暗黄褐	粘	稠		17.5	13	16	15	44	44	
			□	細砂	暗黄褐	粘	稠		18.5	8	12	13	33	33	
			□	細砂	暗黄褐	粘	稠		19.5	3	4	3	10	31	
			□	細砂	暗黄褐	粘	稠		20.5	5	6	6	17	17	
			□	細砂	暗黄褐	粘	稠		21.5	7	9	7	23	23	
			□	細砂	暗黄褐	粘	稠		22.5	5	8	12	25	25	
			□	細砂	暗黄褐	粘	稠		23.5	13	12	13	38	38	
			□	細砂	暗黄褐	粘	稠		24.5	9	14	16	39	39	

25  
26  
27  
28  
29  
30  
31  
32  
33

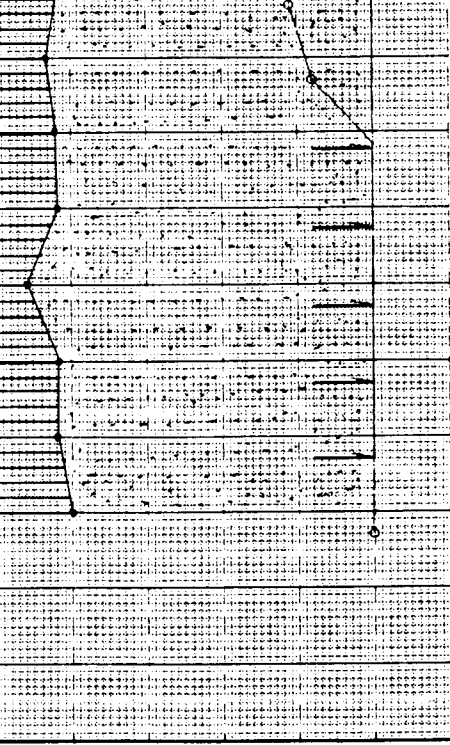
33.07 7.65 31.45

砂  
層

均等な細砂で貝母片混じり、2.5m付近はや多い、2.7m付近は粘土を薄層で

挟在し微細砂を混じる。

24.45				30
25.15	10	15	17	42
				30
25.45				
26.15	29	21		50
		5		25
26.30				
27.15	15	30	5	50
			1	21
27.36				
28.15	14	20	16	50
			5	25
28.40				
29.15	15	18	17	50
			6	25
29.41				
30.15	13	18	19	50
			7	27
30.42				
31.15	11	19	20	50
				30
31.45				50



# ボーリング柱状図

調査名 仮称千葉県消防防災総合センター訓練塔新築地質調査

ボーリングNo. 1

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	NO.2	調査位置	千葉県平川町1513番地の1他	北緯
発注機関	調査期間 平成 1年 2月 6日 ~ 2年 月 10日			東経
調査業者名	主任技師	現場代理人	コア鑑定者	ボーリング責任者
孔口標高	+64.50m	角度	90°	方
総掘進長	33.35m	方位	北 0° 東 90° 南 180° 西 270°	地盤公配
		使用機種	試錐機 YBM-05	ハンマー落下用具
		エンジン		ポンプ

標尺 (m)	層厚 (m)	柱状図	土質区分	色相対調度	相対稠密度	相対稠密度	記	標準貫入試験				原位置試験	試験採取	室内試験	掘進月日	
								深 (m)	10cmごとの打撃回数	打撃回数/貫入量 (cm)	N 値					
62.60	1.90	1.90	ローム	暗褐色			上部20cmはロームの盛土、少量の有機物点在し多孔質である。	1.15	1	1	3	26				
60.70	1.85	3.75	粘土混り細砂	暗黄褐色			粘土分を混在し特に上部層多い、黒色の有機物点在し雲母混じり、含水量少な	2.15	2	1	2	5				
60.70	1.85	3.75	細砂	暗褐色			い。	2.45	3	3	6	12				
59.70	1.05	4.80	細砂	暗褐色			全体に中砂を混じり雲母片混じり含水量少ない。中砂混入	3.46	3	4	5	12				
59.70	1.05	4.80	細砂	暗黄褐色			全体に粘土分と雲母を混じり、微細砂混在含水量少ない。	4.15	3	4	5	12				
57.45	2.25	7.05	粗砂	暗黄褐色			上部7m付近に粗砂を5cm程度抜き、8m付近より以下は粘土及び浮石を混	4.45	3	3	5	11				
54.00	3.45	10.50	粗砂	暗黄褐色			る、10.40m付近は含水量多量である。	5.15	3	3	5	11				
								5.46	3	4	5	12				
								5.15	3	3	5	11				
								6.46	3	4	5	12				
								7.15	2	4	4	10				
								7.45	2	3	3	8				
								8.15	3	3	5	11				
								8.46	3	3	5	11				
								9.15	2	4	5	11				
								9.45	2	3	3	8				
								10.15	3	4	4	11				
								10.46	3	3	5	11				
								11.15	2	3	3	8				
								11.45	2	3	3	8				
								12.15	2	3	4	9				
								12.47	2	3	4	9				
								13.15	2	3	3	8				
								13.45	2	3	3	8				
								14.15	3	3	5	11				
								14.46	3	3	5	11				
								15.15	4	5	6	15				
								15.45	4	5	6	15				
47.75	6.25	16.75	粗砂	暗黄褐色			16m付近に浮石混入する。	16.15	4	6	7	17				
								16.45	4	6	7	17				
								17.15	6	7	8	21				
								17.45	6	7	8	21				
								18.15	5	9	12	26				
								18.45	5	9	12	26				
								19.15	5	8	9	22				
								19.45	5	8	9	22				
								20.15	5	7	9	21				
								20.45	5	7	9	21				
								21.15	6	8	12	26				
								21.45	6	8	12	26				
								22.15	6	8	12	26				
								22.45	6	8	12	26				
								23.15	10	15	25	50				
								23.44	10	15	25	50				
								24.15	13	24	13	50				
								24.45	13	24	13	50				

25  
26  
27  
28  
29  
30  
31  
32  
33

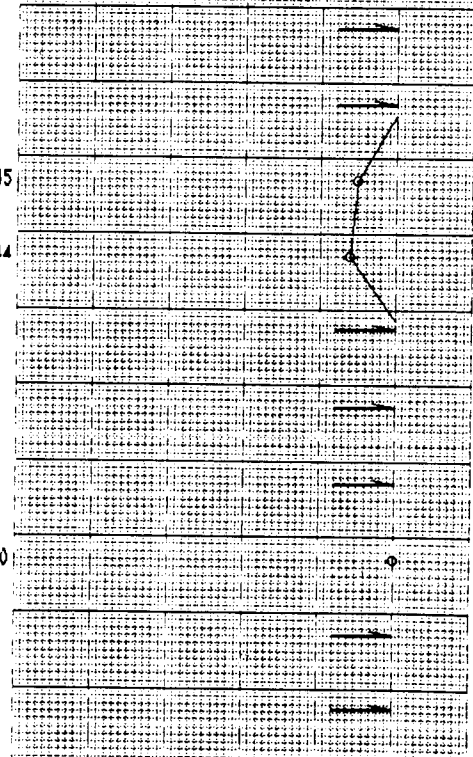
暗  
黄  
褐  
細  
砂

全体に微細砂を多く混在し、雲母片  
混在する。やや均等な細砂で含水分は  
中位

26.0mから27.50m間は少  
量の粘土分を斑点状に混じりまた浮  
石混入  
31.40m付近粘土分を混じり含  
水分多い。

31.15 10.75 33.35

24.15					
24.38					
25.15	13	19	18	50	
			8	28	
25.43					
26.15	13	16	16	45	45
				30	
26.45					
27.15	8	12	24	44	44
				30	
27.45					
28.15	17	29	4	50	
			1	21	
28.36					
29.15	13	18	19	50	
			8	28	
29.43					
30.15	14	21	15	50	
			6	26	
30.41					
31.15	12	16	22	50	50
				30	
31.45					
32.15	13	18	19	50	
			6	26	
32.41					
33.15	16	34		50	
				20	
33.35					



# ボーリング柱状図

調査名 仮称千葉市消防防災総合センターヘリポート  
用地地質解析業務委託

ボーリングNo.	<table border="1" style="width: 100%; height: 20px;"> <tr> <td style="width: 12.5%;"></td> <td style="width: 12.5%;"></td> <td style="width: 12.5%;"></td> <td style="width: 12.5%;"></td> <td style="width: 12.5%;"></td> <td style="width: 12.5%;"></td> <td style="width: 12.5%;"></td> <td style="width: 12.5%;"></td> </tr> </table>								

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	No. 1	調査位置	千葉市平川町地内				北緯	
発注機関	千葉市役所			調査期間	平成4年1月27日～4年1月28日		東経	
調査業者名	主任技師			現場代理人	コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	TP +63.90m	角	180°上	方	北 西 270° 東 90° 南 180°		地盤公配	使用機種
総掘進長	26.40m	度	90°下	向	水平		試錐機	エンジン
							YBM-0.50	ハンマー落下用具
								ポンプ

標尺 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対稠密度	相対密度	記 事	標準貫入試験			原位置試験		採取方法	掘進月日	
									深 (m)	10cmごとの打撃回数		N 値	試験名および結果			
										0	10					20
63.55	0.35	0.35	茶褐ローム	茶褐				ロームを主体とし、草根を少量混入。	1.15	1	1	2	30	0.70	T-1	
62.20	1.35	1.70	茶褐ローム	茶褐				粘性中位で、下部で粘性強い。	1.46	1	2	2	5	1.50		
61.70	0.50	2.20	砂質粘土	黄灰				全体に砂分を多く混入。	2.15	1	2	2	5			
			細砂	黄褐				最上部付近で若干粘土分を含む。粒子比較的均一。6.00m下部付近で粘土をレンズ状に挟む。	2.45	2	2	3	7			
			細砂	黄灰					4.15	1	2	2	5			
			細砂	黄灰					4.45	1	1	2	4			
			細砂	黄褐					5.15	1	1	2	4			
			細砂	黄褐					5.45	2	2	3	7			
56.50	5.20	7.40	細砂	茶灰				6.15	2	2	3	7				
55.40	1.10	8.50	細砂	茶灰				6.45	2	2	4	8				
			細砂	茶灰				7.15	2	2	4	8				
			細砂	茶灰				7.45	3	3	4	10				
			細砂	茶灰				8.15	3	3	4	10				
			細砂	黄灰				8.45	2	3	4	9				
			細砂	黄灰				9.15	2	3	4	9				
			細砂	黄灰				9.45	2	3	3	8				
			細砂	黄灰				10.15	2	3	3	8				
			細砂	黄灰				10.45	1	2	3	6				
			細砂	黄灰				11.15	1	2	3	6				
			細砂	黄灰				11.45	2	3	3	8				
			細砂	黄灰				12.15	2	3	3	8				
			細砂	黄灰				12.45	3	3	4	10				
			細砂	黄灰				13.15	3	3	4	10				
			細砂	黄灰				13.45	5	7	10	22				
			細砂	黄灰				14.15	5	7	10	22				
			細砂	黄灰				14.45	5	6	8	19				
			細砂	黄灰				15.15	7	9	12	28				
			細砂	黄灰				15.45	7	9	12	28				
			細砂	黄灰				16.15	6	9	13	28				
			細砂	黄灰				16.45	6	9	13	28				
			細砂	黄灰				17.15	7	9	11	27				
			細砂	黄灰				17.45	7	9	11	27				
			細砂	黄灰				18.15	7	8	13	28				
			細砂	黄灰				18.45	7	8	13	28				
			細砂	黄灰				19.15	6	8	10	24				
			細砂	黄灰				19.45	6	8	10	24				
			細砂	黄灰				20.15	7	10	13	30				
			細砂	黄灰				20.45	7	10	13	30				
			細砂	黄灰				21.15	13	18	19	50				
			細砂	黄灰				21.45	13	18	19	50				
			細砂	黄灰				22.15	7	16	24	47				
			細砂	黄灰				22.40	7	16	24	47				
			細砂	黄灰				23.15	14	20	16	50				
			細砂	黄灰				23.45	14	20	16	50				
			細砂	黄灰				24.15	9	11	19	39				
			細砂	黄灰				24.41	9	11	19	39				
			細砂	黄灰				25.15	11	20	19	50				
			細砂	黄灰				25.45	11	20	19	50				
37.50	17.90	26.40						26.15	11	20	19	50				
								26.40								

30

1/21

# ボーリング柱状図

調査名 仮称千葉市消防防災総合センターヘリポート  
用地地質解析業務委託

ボーリングNo.									
----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	N o . 2		調査位置	千葉市平川町地内			北緯
発注機関	千葉市役所			調査期間	平成 4年 1月29日 ~ 4年 1月31日		東経
調査業者名	主任技師			現場代理人	コア鑑定者		ボーリング責任者
孔口標高	TP +64.47m	角度	180°上下	方向	北 0° 東 90° 南 180° 西 270°	地盤公配	水平
総掘進長	26.32m	試錐機	Y B M - 0 . 5 0		ハンマー	落下用具	
		エンジン			ポンプ		

標尺 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記号	標準貫入試験				原位置試験	採取	室内試験	掘進月日
									深度 (m)	10cmごとの打撃回数	打撃回数	貫入量 (cm)				
1				盛土 (ローム)	暗茶褐			所々に黒ぼく状及び草根を少量混入。粘性小~中位。含水中位。	1.15	1	1	2				
2									1.48							
3									3.55	1	1	3				
4	60.82	3.65	3.65	ローム	茶褐			粘性弱く、比較的均質なローム。下部で木根を混入し、砂分を若干含む。	3.85	1	1	3				
5									4.15	1	1	3				
6	58.77	2.05	5.70	粘土質細砂	黄灰			粒子不均一。全体に粘土分を含む。	4.47	1	1	3				
7									5.15	1	1	3				
8	57.77	1.00	6.70						5.46							
9									6.15	1	1	3				
10									6.45	1	1	3				
11									7.15	1	1	3				
12									7.46							
13									8.15	1	2	5				
14									8.45							
15									9.15	1	2	5				
16									9.47							
17									10.15	1	1	3				
18									10.46							
19									11.15	2	2	8				
20									11.45							
21									12.15	2	2	7				
22									12.45							
23									13.15	4	6	20				
24									13.45							
25									14.15	6	6	22				
26									14.45							
27									15.15	9	13	39				
28									15.45							
29									16.15	12	14	43				
30									16.45							
31									17.15	6	9	28				
32									17.45							
33									18.15	7	9	29				
34									18.45							
35									19.15	6	10	30				
36									19.45							
37									20.15	4	6	19				
38									20.45							
39									21.15	7	11	34				
40									21.45							
41									22.15	10	18	50				
42									22.41							
43									23.15	20	30	50				
44									23.35							
45									24.15	13	22	50				
46									24.42							
47									25.15	10	15	46				
48									25.45							
49									26.15	22	28	50				
50									26.32							





土質柱状図 (No.2)

調査名 仮称千葉市消防防災総合センター宿舍棟新築地質調査業務委託

調査地 千葉市緑区平川町1513番地の1他

調査年月日 平成5年8月3日～5年8月5日

標高 TP 64.76 m

孔内水位 GL -10.20 m (自然水位)

技術者

標尺 m	種高 m	深 度 m	層厚 m	柱状 図	色調	土質 名	観 察	原位置 試験 深度 m	標準貫入試験						試料		標尺 m				
									深 度 m	N 値 回/cm	10cm 毎の 打撃回数			N 値					採取 方法	採取 深度 m	
											10 cm	20 cm	30 cm	0	10	20		30			40
1							均質。含水中くらい。		1.15	4	1	1	2						1		
2									1.47	3	1	2							2		
3	61.86	2.90	2.90		褐	ローム			2.15	3	1	2							3		
4	61.26	3.50	0.60		黄褐	シルト混り細砂	火山灰混り細砂。細砂・細粒～中粒。斑状に酸化。一部、固結。含水中くらい。細粒～中粒。均等粒度。細粒土少し含有。含水中くらい。		2.45	9	2	3	4						4		
5									3.15	30	5	6	6						5		
6	53.76	6.00	2.50		黄褐	細砂			3.45	17	5	6	6						6		
7							シルトの含有比較的小さい。細砂・細粒。含水中くらい。6m、黄褐色。7m、灰黄褐色。		4.15	30	4	6	6						7		
8	56.46	8.30	2.30		灰黄褐	シルト混り細砂			4.45	15	4	5	6						8		
9							8～12m、灰黄褐色。8～11m、均等粒度。細粒土少し含有。8m、9m、細粒～中粒。10m、中粒。11m、細粒～中粒。12～14m、含水多い。12m、細粒～粗粒。細粒土・細粒の粗砂少し含有。		5.15	16	4	6	6						9		
10									5.45	21	6	6	9						10		
11							13～25m、灰黄緑色。13m、14m、中粒。均等粒度。雲母少し含有。13m、細粒土・粗粒の細砂少し含有。雲母の含有比較的多い。15～30m、含水中くらい。		6.15	18	5	6	7						11		
12									6.45	18	5	7	6						12		
13									7.15	30	6	6	8						13		
14							15～20m、細粒～中粒。均等粒度。21～31m、細粒。均等粒度。雲母少し含有。26m、27m、黄緑褐色。粗粒の細砂・細粒の粗砂少し含有。28～31m、灰黄緑色。31m、雲母含有比較的多い。		7.45	20	6	6	8							14	
15									8.15	18	6	6	6						15		
16									8.45	17	6	6	5						16		
17									9.15	15	4	5	6						17		
18									9.45	16	5	5	6						18		
19									10.15	24	7	7	10						19		
20									10.45	45	13	14	18						20		
21									11.15	12	15	17							21		
22									11.45	11	17	16							22		
23									12.15	44	20	23	1						23		
24									12.45	50	22	23	1						24		
25									13.15	44	13	15	16						25		
26									13.45	41	14	13	14						26		
27									14.15	45	13	15	17						27		
28									14.45	50	18	18	14						28		
29									15.15	28	14	17	19						29		
30									15.45	49	10	15	24						30		
31	33.45	31.31	23.01		灰黄緑	細砂			16.15	36	14	3							31		
32									16.45	50	28	22	6						32		
33									17.15	50	28	22	6						33		
34									17.45	50	28	22	6						34		